



桜の開花が少しずつ見られるようになってきた4月。令和4年度がスタートしました。依然としてコロナ禍ではありますが、感染拡大を防ぎ、生徒の学びを止めない学校とするために職員一同、精一杯取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様には引き続き、本校の教育活動に対しまして、ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



4月上旬はまだ1分咲き？

新学期がスタートして…

1学年は入学、2学年はクラス替えにより、新しい先生や仲間と共に、昨年度とは違う学級がスタートしています。また、3年生は、新たな仲間が加わった学級もあり、最上級生としてスタートしています。新年度になり、昨年度とは違う棟、教室での生活が始まっています。

また、各学年で学年集会も行っていました。授業のことや生活の過ごし方、部活動、清掃、また学年によっては進路について、年度当初確認していきたいことを、学年の先生よりお話がありました。

「清掃を1年間頑張りたい」「部活動を後悔なくやりたい」などの思いを見守りながら、昨日の自分より今日の自分が、一歩ずつ成長していくことを見とどけたいと思います。



校長講話より～1学期始業式・第76回入学式～

4月6日(水)の午前中に、2・3年生が参加しての始業式を、同日午後、新入生と保護者が参加しての入学式を行いました。

昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、入学式には、2、3年生は参加せず、新入生と保護者の皆様のみでの参加で行いました。そのため、2、3年生は午前中に登校し、始業式を行いました。始業式、そして入学式のなかで、林理恵校長より、次のお話がありました。



少し前のことになりましたが、北京オリンピック・パラリンピックが開催されました。パラリンピックでは、チェアスキー選手の村岡桃佳さんが、三つもの金メダルを獲得するなど、多くの選手の皆さんが活躍されました。

その競技の様子を拝見しながら、オリンピックとは違うことを知りました。それは、選手の障がいに合わせて、実際のタイムに係数をかけた計算タイムで順位が決まるということです。障がいによって時計の進み方が遅くなるなどの配慮がありました。競技する選手の皆さんを応援しながら、公平に順位を決め出すパラリンピックのルールに感動しました。それと同時に、人と比べることの難しさも感じました。

アスリートが競い合う場では順位付けは当然のことですが、日常生活の中でも順番や順位がつくことがあります。皆さんにとっても、テストの点数や部活動での成果が目標となっていますね。テストで良い点を取りたい、部活動でレギュラーになりたい、コンクールで上位の賞に入りたいなど、目標を持つことはとても大切なことです。

私がつ、皆さんにお願いしたいことは、そのような目標を大切にしながらも、人と比べて順番をつけることだけに囚われないでほしいということです。皆さん一人ひとりには、その人にしかない良さがあり、得意なこともあれば、苦手なこともあります。得意なことに取り組んでとことん挑戦する一方で、苦手なことにも逃げずに向き合い、自分なりの努力を一步一步進めてほしいと思っています。時には、友達とは違う時計の進め方でゆっくりと、自分なりの努力を、成長を、積み上げてほしいと、パラリンピックでの選手の皆さんの活躍に重ねながら願っています。

生徒の皆さん一人ひとりが自分らしく成長してほしいと、昨年度から先生方と学校生活のあり方について検討してきました。生徒の皆さんが、自分と向き合って、目標に向けて計画を立て実行したり調整したりする場面を設け、自分の目標に向かって力を高めていけるように、今年度の第一中学校の学校生活を進めていきます。新たな学校生活で、皆さん一人ひとりの力が昨日より今日、そして、明日へと高まっていくように、先生たちはみんなで応援していきたいと考えています。

まだまだコロナも終息せず、互いに交流することが難しいですが、皆さんの内にある力を更に高めていけるように心がけながら、共に生活をしていきましょう。

自分と向き合い、自分の目標に向かって、昨日よりも今日、そして今日よりも明日へと力を高めていく。年度当初の今、「〇〇を頑張りたい」などの思いがあると思います。その思いを大切に、時には失敗しながらも、前に進んでいく生徒を、私たち教職員は、全力で支えて参ります。

